



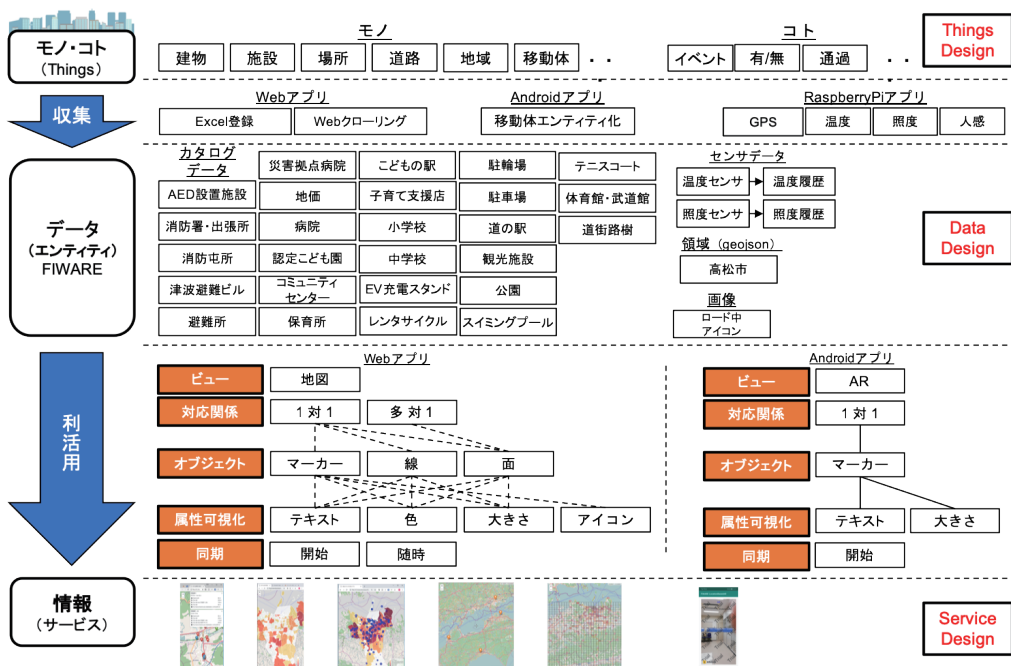
IoT プラットフォーム FIWARE を用いた データ利活用人材育成プログラムの開発

創造工学部 創造工学科 情報コース 教授 米谷 雄介

研究シーズの概要

本研究シーズは、センサデータ等の ICT や IoT (Internet of Things) を活用して地域課題解決ができるデータ利活用人材を育成するための学習支援プログラムです。図は本シーズの全体像を表します。データ利活用プロセスを (1) ICT・IoT によるデータ収集と、(2) 蓄積データを利活用したサービス開発とに分け、各プロセスにおいて開発支援ツールを提供することでデザイン主導のサービスプロトタイプ開発を支援しています。このことにより技術的知識を持たない地域コミュニティのメンバーやクリエイター/デザイナーであっても、地域課題解決を目指したサービス開発に取り組みながら実践的に ICT、IoT のスキルを向上させることが可能となっています。

本プログラムは、NEC の提供する、欧州標準のスマートシティ向け IoT プラットフォーム FIWARE を用いたデータ利活用基盤サービスを基に開発され、情報通信交流館 e- とぴあ・かがわと連携した市民講座「まちのデータ研究室」において実践されました。今後も継続して開講する予定であり、本実践を通じて本シーズはさらに洗練されたものになる予定です。



【利用が見込まれる分野】 地域課題解決に向けたサービスデザイン (交通、観光、健康、防災、防犯)

研究者プロフィール

米谷 雄介 / コメタニ ユウスケ



メールアドレス kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp
所属学部等 創造工学部 創造工学科 情報コース
職 位 教授
学 位 博士 (工学)
研究キーワード データ管理プラットフォーム、データ利活用人材養成、知的支援システム

問い合わせ番号: EN-19-001

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで
直通電話番号: 087-832-1672 メールアドレス: ccip-c@kagawa-u.ac.jp